

ルンスミオ療法【1コース目】(Day1)**【血液内科】258-1【悪性リンパ腫】
(第 コース目)**

*網かけ部分は必須記入事項

診療科:	病棟:
医師名:	印

身長:	cm	体重:	kg
体表面積:	m ²	Cr:	mg/dL

■レジメン 下記が1コースの投与スケジュール : 3週ごとを1コースとする

Day	1	8	15	~21
施行日	/	/	/	/
ルンスミオ	↓	↓	↓	

■投与順序 ※マークは同タイミング投与薬あり

滴下順	投与時間	
※①	10時	生食 500mL 24時間
※①	10時	同時に側管より カロナール内服 → 別途内服オーダー ボラミン注5mg 1A デキサート注6.6mg 3V 生食 100mL 30分
②	11時	●ルンスミオ点滴静注 1mg 生食 100mL 4時間

■投与量 ※投与量の参考

薬剤名	標準投与量
ルンスミオ	《Day1》 1mg/body 《Day8》 2mg/body 《Day15》 60mg/body

■注意・確認事項

○ルンスミオ投与によりサイトカイン放出症候群(CRS)が起こる場合があるので注意すること。
 CRS予防のため、ルンスミオ投与30～60分前に副腎皮質ホルモン剤、抗ヒスタミン剤、解熱鎮痛剤を投与すること。
 初回の60mg投与開始後48時間は必ず入院管理とすること。
 ○インラインフィルターは使用しないこと。

《CRS及びTLS予防のための対策(適正使用ガイド:臨床試験におけるTLSの予防措置)》

- ・本剤投与開始の1～2日前から約2～3L/日の水分摂取を開始することを推奨。
 - ・本剤の投与終了後、少なくとも24時間は150～200mL/時の投与速度での静脈内補液を行う。
- 医学的必要性のある患者では補液速度の調節を考慮する。
- ・TLS発症リスクが低又は中程度と判断された患者には尿酸低下作用薬を投与する。
 - TLS高リスク患者/本剤投与前に尿酸値が上昇した場合はラスブリカーゼ等を投与する。

入力 薬剤師	看護師	看護師